

令和7年9月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

伊豆東岸定置網における令和7年下半期の漁海況予測

当場では令和7年下半期（7～12月）の相模湾の海況及び伊豆東岸定置網における主要魚種の大きさ・来遊量を神奈川県水産技術センターと協議して予測しました（右表 8月18日時点）。

黒潮は大蛇行流路が継続していましたが、4月下旬に一時的に蛇行部が切り離されたことから、大蛇行収束の兆しが見られています。そのため今期の黒潮は大規模なC型（伊豆諸島付近で本州を離れ、八丈島の南を通過する流路）基調で推移すると予測しました。

また、主要魚種の来遊量は資源状態や上半期の漁獲動向等に基づき予測を行っており、マアジは令和4年以降増加傾向でしたが、今期は前年を下回ると予測しました。ゴマサバは低水準ながら前年を上回る、ブリは銘柄いなだ、わかし主体に前年を上回ると予測しました。

海況	黒潮	大規模なC型基調で推移する。蛇行北上部が一時的に伊豆諸島海域の西側に位置することがある。
	水温	「平年並」～「高め」で推移し、暖水波及時には「極めて高め」となる。 *平年：1991～2020年の平均水温
マアジ	大きさ	尾叉長15cm前後の0歳魚主体で、20cm以上の1歳魚以上も漁獲される。
	来遊量	前年を下回る。
マサバ	大きさ	尾叉長30以上主体。
	来遊量	ゴマサバに混じる程度。
ゴマサバ	大きさ	尾叉長30以上主体。
	来遊量	低水準ながら前年を上回る。
マイワシ	大きさ	0歳魚主体。
	来遊量	低調な平年並。
カタクチイワシ	大きさ	成魚及び未成魚。
	来遊量	低調な平年並。
ブリ	大きさ	銘柄いなだ・わかし主体。
	来遊量	前年を上回る。

県民の日イベントを開催

8月8日に県民の日特別企画として、申込制イベントの「ところてん作り体験」と「ムラサキウニの解剖体験」、申込不要の「タッチプール」と「展示室夜間公開」を実施しました。昨年は南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発令されたためイベントを中止しましたが、今年は無事開催することができました。

参加した子供たちは、ところてん作りもウニの解剖も初めての経験でしたが、保護者の方と一緒に楽しみながら熱心に取り組んでおり、伊豆地域の海の生き物や水産業について理解を深めていただけたと思います。

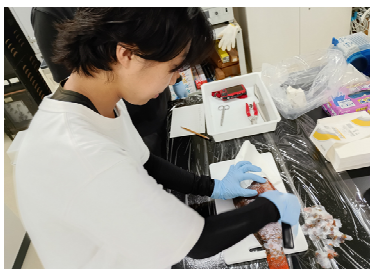


インターンシップ生を受入れました

8月5日から8日までの4日間、水産分野を学ぶ大学4年生1名がインターンシップで当場を訪れました。

期間中、分場職員から伊豆の漁業や分場業務についてレクチャーを受け、また当場が重点的に取り組んでいる磯根資源回復策やキンメダイ資源管理及び種苗生産等について、体験を交えて学習してもらいました。

最終日には、年に1度の県民の日イベントにスタッフとして参加し、研究所の業務を広く知ってもらえる機会になったと思います。



左：海藻を食べる魚(フダイ)の解剖

右：専用の採集器具を用いたイセエビ稚エビの採集見学

9月の予定 ●潜水調査（稲取、菖蒲沢、白浜） ●キンメダイ親魚採捕調査 ●イセエビ予測検討・発表（下田、南伊豆） ●イセエビ測定 ●インターンシップの受入れ（2～5日） ●東部地区漁業士と行政との意見交換会（9日稲取） ●静岡県立漁業高等学園生研修対応（17日）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

当場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。